

高比良元・中央後援会からの通信

高比良元後援会の皆様の強力なご支援に感謝いたします。

さて、高比良元後援会会員である我々有志は高比良元の政治活動内容を後援会の皆様に適宜通信することにより、これら活動が後援会会員の皆様の信頼と期待に報いているか、県民の幸せのためになっているかを判断してもらい、さらなる皆様のご指導とご支援を願うものであります。

長崎県議会連立会派によるタウンミーティング(県政報告会と公聴会)を実施

(平成 23 年 10 月掲載)

改革 21 会派、自民党会派、新生ながさき会派の三会派による連立会派を結成し、県議会・県政改革や議員活動の活性化に向けた取り組みを鋭意行っていますが、結成し 5 ヶ月程度が経つことから、今般、原則として連立会派議員全員そろってのタウンミーティング(県政報告会と公聴会)を佐世保・大村・長崎の三会場で 10 月 8 日から 10 日迄の間、実施をいたしました。先ず県政全般について、会場の参加者から質問・意見・要望等を提出していただき、議員がそれに答えるという方式でのいわば公聴会を実施しました。

会場からは、『知的障害児者療養施設つくも苑の移転新築問題』『石木ダム問題』『板山トンネルの建設』『認可外保育所への公的助成の拡充』『大村市内の幹線道路の整備』『大村駅のバリアフリー化』『大村湾浄化対策』『県立図書館の移転新築問題』『被爆者援護対策の問題』『県庁舎の移転新築問題』『行政の効率化等の問題』『有害鳥獣駆除対策』『離島振興対策』等、多様な意見や要望が提出されました。次に、私の方から会場の皆さんに連立会派を結成した意義や、そのいわば旗印としての県議会・県政改革特別委員会の設置の意義と審査の進捗状況並びに県民の関心が高い「諫早湾干拓事業における入植者選定に関する調査特別委員会(通称「百条委員会」)の設置の意義等について説明をさせていただきました。佐世保では約 450 人、大村は約 400 人、長崎は約 800 人の出席者がある中、2 時間という予定時間があっという間に過ぎてしまう熱をおびた会議でした。議員の半数がそろって過去、県政報告会・公聴会を実施した例がなく、今回の取り組みは議員・参加者ともに有意義ではなかったかと思えます。

県民参加型議会を目指すうえでは、県内での移動県議会的な取り組みも必要です。

少なくとも連立会派においては、今回のようなタウンミーティングを各地で継続して開催していきたいと考えています



琴海地区での意見交換会 (平成 23 年 10 月掲載)

高比良元の政務調査活動として、毎月、長崎市内の各地区を巡回しながら、地区の住民代表等の皆さんと振興課題について意見交換会を開催していますが、その第 4 回目として 9 月 19 日に琴海地区で実施しました。琴海地区は 6 年前、外海地区及び長崎市南部 5 地区とともに長崎市に編入合併しました。

合併のスケールメリットによる、行財政基盤の強化や公共投資の拡充等が期待されましたが、現在のところ他の合併地区同様、住民の受益は減り、負担は増え、合併効果は感じられないといった声が上がっています。意見交換会でも合併によって住民の声が行政になかなか届かなくなった。行政センターの権限や裁量権がないために、市中心部の本庁まで度々行かなければならず、かえって不便になった等の意見が寄せられました。また、幹線道路の整備や産業振興策、大村湾の水質浄化対策、交通弱者や不便地に住む住民への公共交通機関の確保等、多様な意見・要望がなされました。これらについては、真摯に受け止め県や市と協議を重ね、できることから着実に実施し改善が図られるよう、私として努力してまいります。

また、協議の状況や途中の経過報告を併せて行っていく所存です。意見交換会の概要についてはご請求いただければ御通信いたします。右の写真はその会場風景です。



式見地区での意見交換会 (平成 23 年 9 月)

外海地区住民の皆さんとの意見交換会 (平成 23 年 11 月)

と順次開催し問題解決のため鋭意努力しています。

県議 2 期目となったいま、改めて長崎市内各地の振興課題について当該地の人たちと意見交換をし、『ひとつでもふたつでも課題を解決するため』に取り組む端緒としたいという意図で地区別の意見交換会を実施しています。

後援会からのお知らせ①

後援会の皆様も意見交換会を開催しませんか、高比良県議は時間の許す限り参加させていただきますとのことです。

後援会からのお知らせ②

別の面からの県議を発見！「高比良元はグラバー園で生まれた！」

生粋の長崎っ子！です

高比良 ちづこ（1959 年生まれ血液型 B 型）の「夫に関するエピソード」等ブログから判明

「歴史をつくるのは女ですか？」の一部抜粋

元気塾の参加者も、本日現在 40 名を超えました 嬉しいですね。
また、そのうちの半数が女性の参加者です。これはどういうこと？
元気塾、頑張ります。いや、皆さんが楽しく集う場所となるようにするのが私の仕事。

余談ですが、龍馬さんと関係のある英国商人トーマスグラバーのグラバー邸は、皆さん誰でもご存じでしょう。

しかしその奥にあるオルト邸について、後に日本人が暮らしていたことをご存じの方はそう、いらっしゃらないでしょう。そのオルト邸で生まれたのが私の夫。グラバー園に行く度にその奥のオルト邸まで足を伸ばし「ここが生まれた家、ここが寝ていたベッドで…」と話しをしてくれます。



上記はオルト邸です
(元さんの子供時代はこんなに立派なものではありませんとのことでした)

後援会からのお知らせ③

夫人も長崎元気塾の影のリーダーとして高比良元の活動を支えています。

また、長崎元気塾は平成24年1月26日で13回目を開催します。後援会の皆様のご参加をお待ちします。

日 時 1月26日(木) 19時～21時

場 所 長崎市民会館 2階視聴覚室(長崎市魚の町5番1号)

なお、高比良元中央後援会からの通信は、今後は最新の政治活動状況をご通信するように努力いたします。

高比良元後援会の有志である我々は、現在は、高比良元の後援会事務所（〒851-0402 長崎市晴海台町2-9 TEL/FAX 095-892-1825）に在籍していますが、今後は、高比良元中央後援会を長崎市の中央部に開設するよう行動する予定であります。